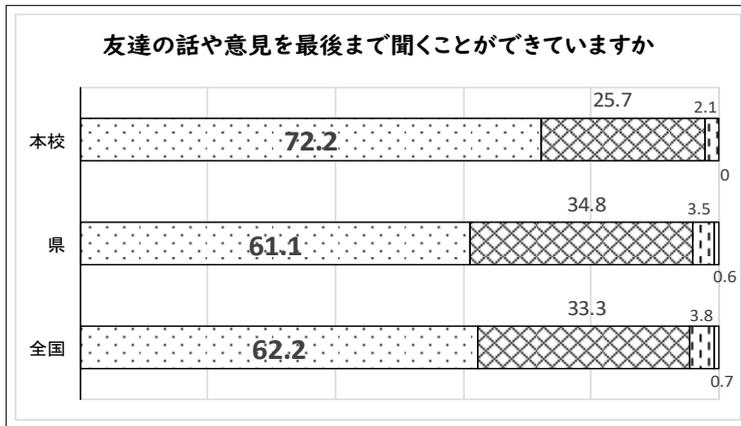


## 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果から見える 本校児童の姿

昨年度、新型コロナウイルスの感染拡大による臨時休校により中止された6年生の児童を対象にした全国学力・学習状況調査が、今年は2年ぶりに実施されました。

質問紙の結果を元に、北小の子供たちのよさや課題について考えてみたいと思います。なお、学力面を中心にした結果と分析については、別の文書にて報告いたします。

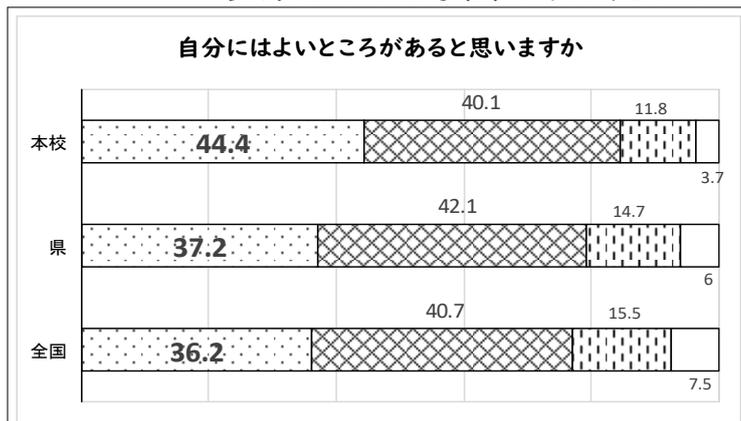
### <袋井あやぐも学園で取り組んでいる「聞くことの指導」の成果>



この設問に、「当てはまる」と回答した本校の6年生は、72.2%で静岡県や全国の平均よりも10%以上高くなっています。学園全体で6年間取り組んできた成果と言えます。

人の話を「聞くこと」は、学力を向上させるために不可欠ですが、それ以上に他者を大事にする思いやりの心をもつことにつながります。本校では、自分の学びのために、また思いやりの心を育てるために、引き続き「聞くこと」を大事にする指導に力を入れていきます。

### <袋井あやぐも学園で取り組んでいる「ボイスシャワー」の成果>



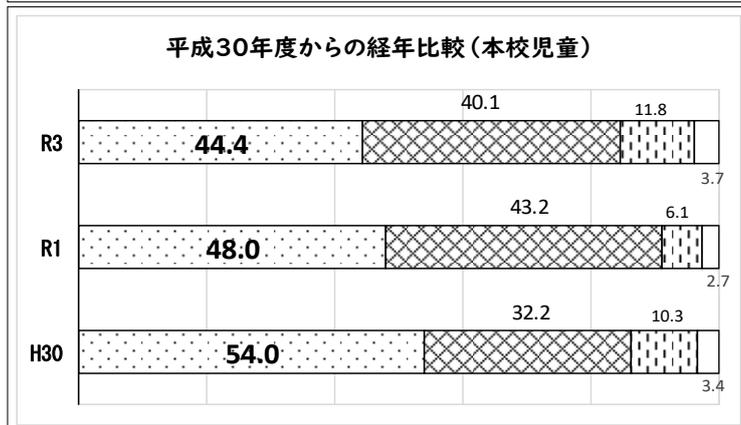
子供たちのよさや頑張りを積極的に認め、勇気付けの声を掛けること(ボイスシャワー)も学園の共通実践の柱です。

自分のよさを自覚できている子供の割合についても、県や全国と比較して本校は高い数値が出ています。

自己に対する肯定的な感情(自己肯定感や自尊感情)が育っていないと、人と関わりながら社会で生きていくことに困難を感じてしまうと言われています。子供たち一人一人が、将来をたくましく生き抜いていけるよう、様々な体験や人との関わりを通して、自信を付け、自分のよさに気付いてほしいと思います。

下のグラフは、同じ質問の経年比較です。自信をもって、「当てはまる」と答えている児童の割合が年々減少していることが気になります。今年の6年生については、コロナの影響で体験そのものが減っていることも影響して

### 平成30年度からの経年比較(本校児童)



いると考えられます。

卒業時に、「自分にはこんなよいところがある」という確かな自信をもって、子供たちが北小を巣立っていきけるようボイスシャワーを意識して、指導していきます。



### <基本的な生活習慣と学力>

	朝食を毎日食べる		毎日、同じくらいの時間に起きる		毎日、同じくらいの時間に寝る	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数
当てはまる	69.4	73.1	74.6	75.3	66.5	71.6
どちらかといえば当てはまる	58.9	76.6	61.4	69.7	72.4	72.8
どちらかといえば当てはまらない	57.1	43.8	52.9	60.0	50.0	56.8
当てはまらない	14.3	25.0	50.0	31.3		

表に示された数値は国語と算数、それぞれの正答率です。

基本的な生活習慣が身に付いている子供は、そうでない子供と比べて正答率がかなり高くなっています。

お子さんは、毎朝きちんと朝食を食べ、決まった時間に就寝したり起床したりすることができていますか。学習の効率を高めるためにも規則正しい生活を送ることができるよう御家庭で御指導ください。

### <ゲームに費やす時間と学力>

平日どれくらいゲームをするか	国語		算数	
	国語	算数	国語	算数
4時間以上	60.0	66.3		
3～4時間	60.7	68.8		
2～3時間	60.3	59.7		
1～2時間	64.3	68.8		
1時間以内	80.8	87.5		

ゲームが好きという子供はたくさんいると思います。御家庭では、時間や場所など、子供たちがゲームをする上でのルールは決めてありますか。

左の表は、ゲームをしている時間と正答率の関係を示しています。ゲームの時間が1時間以内(やらないも含む)の子供の正答率は、国語でも算数でも8割を超え、圧倒的に高いことが分かります。

多くの人にゲームを楽しんでもらうために、大人が様々な魅力を取り込んで作り上げたゲームです。その楽しさの虜(とりこ)になるように作られていますから、楽しくてやめられなくなるというの分かります。高学年になると所持率の上がるスマホも同じです。それらのメディア機器と上手に付き合っていくためには、大人が介入して子供といっしょにルールを作ることが必要です。

### <将来の夢や目標と学力>

将来の夢や目標をもっている	国語		算数	
	国語	算数	国語	算数
当てはまる	66.9	71.8		
どちらかといえば当てはまる	71.9	78.9		
どちらかといえば当てはまらない	60.7	52.3		
当てはまらない	50.0	65.6		

夢や目標をもっている子供の方が、正答率が高いことが分かります。学校教育目標「夢いだき ともに高め合う子」のとおり、一人一人の子供が夢や目標をもって、互いに切磋琢磨し合って高め合うことのできる北小にしたいと強く願います。

夢や目標は、子供にとっても大人にとっても、頑張る時のエネルギーの源になります。大人は子供に「夢や目標をもってほしい」と願うもの

です。しかし、本物の夢や目標というものは、人から与えられるものではなく、子供が自問自答しながら自分で決めていくものです。

我々大人にはいったい何ができるのでしょうか。大人にできることは、私たちが生きている社会や世界のすばらしさや魅力をお子さんに伝えていくことだと思います。まずは、大人が生き生きと生活すること、そして、子供とたくさん接し、たくさん話をする事です。時には、世の中の問題や矛盾をお子さんと共有することもあるでしょう。それでも、生きること、働くことはすばらしいというメッセージをお子さんに伝え続けることが大切です。

お子さんが夢や目標をもてたなら、子供が語る夢や目標を笑顔でまるごと受け止め、肯定的な声掛け(ボイスシャワー)をしてあげてください。たとえ難しそうだと感じるがあっても、たとえ子供が頑張っていない姿を見せたとしても、子供の夢や目標は否定せず、信じて見守る姿勢をお子さんに示し続けます。そうすることで、子供は自分で決めた目標に向かって頑張ろうという意欲を持続させることができると思います。

